



北区議会議員

山中りえ子

都民ファーストの会 総務会 総務
基礎自治体連絡協議会 副幹事長
区政改革委員(北区担当)

プロフィール

聖母の騎士幼稚園・北区立赤羽小学校・跡見学園中学校・同高等学校・日本女子大学・慶応義塾大学卒
持田製菓株式会社、東京都立学校時間講師を経て平成31年4月の北区議会議員選挙で初当選(3588票)

ごあいさつ

2月13日から、令和5年第1回定例会が始まりました。任期最後の定例会です。4月末の任期最後まで皆さまのお声をしっかりと届けてまいります。

本日は、令和4年第4回定例会での個人質問を中心に区議会レポートとしておまとめしました。ご意見やご感想などお寄せいただければ幸いです。

*無党派議員発案の意見書可決 北区初!

「子育て支援策に係る所得制限を見直し、子育て支援の拡充を求める意見書」

今定例会で初めて意見書を発案しました。少子化は喫緊の課題であるにもかかわらず、1990年のいわゆる丙午ショック以降、改善の兆しが見られません。子どもを産みやすい環境作りの一つとして、子育て支援策に係る所得制限の見直しと拡充を諮ったところ、全会派一致で可決され、国へ意見書を提出する運びとなりました。

*北区では、8年前から私のように一人で活動する議員を無党派と呼んでいます。



北区が動く!

北区立小中学校の給食
完全無償化



東京都が動く!

東京都議会では、所得制限なしで子ども一人あたり5,000円の給付が審議されているところです。

いつから?	対象は?	支給方法は?
2024年1月に一括支給予定	子ども一人あたり5,000円	東京都から対象者へ支給

国が動く!

岸田総理大臣は年頭の記者会見で「異次元の少子化対策に挑戦する」と述べられています。どのような形になるのか、期待したいところです。



ご意見、ご感想をお寄せください。

ウェブサイトを開設しました Yamanakarieko.com

山中りえ子

〒115-0045
北区赤羽 2-1-7-401

TEL : 090-6196-7870 メール : Yamanakarieko.kitaku@gmail.com



第4回 定例会にて

以下3点を質問いたしました。

質問
1

高齢者等のデジタルディバイド対策

高齢者等が自身でもオンラインで手続きができるように、ふれあい館等身近な場所で、いつでも受講できる教室や場所が必要ではないか。

※デジタルディバイドとは、「インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差」のことをいう。(情報通信白書より引用)



回答

デジタルディバイド対策として、生きがい活動センターや老人いこいの家などで行ってきたスマホ教室やタブレット教室の拡充が必要と考えている。

質問
2

終活支援センターの設置

「豊島区終活あんしんセンター」では、もしものときのために終活に関わる情報（エンディングノートやリビングウイル、遺言書の保管場所、緊急連絡先、通院先、臓器提供の意志、本籍地等）を登録できる。北区にも終活支援センターの設置を求める。



回答

マイエンディングノートも含めた終活を支援する終活支援センターの設置については、専門的な知識を持った人材や場所の確保などの課題もあり、実現は難しいが、マイエンディングノートや終活について、普及啓発、支援に取り組む。

質問
3

避難所開設訓練に参加して

避難所となる小中学校の通学区域と訓練を行う町会自治会連合会の区域が異なる場合には、鍵のありかを伝えるだけでなく、発災時に避難所を開設する町会・自治会で協力して訓練を行うほうが効果的ではないか。



回答

今後、避難所開設訓練を地域が主体的に実施していく際には、避難所を担当する両地区の町会・自治会が協力し、合同での訓練となるよう働きかけていく。

都民ファーストの会 新体制

昨年11月に代表選が行われ、新代表として森村隆行都議（青梅市）が選出されました。私は総務会の一人として新しいお役目を頂戴いたしました。また、基礎自治体連絡協議会の副幹事長も、4月まで継続してお引き受けすることになりました。東京都と連携して、北区からも東京大改革をすすめてまいります！

